

●TWEBS (クマザサ特殊抽出エキス) について

はじめに

笹の効用効果については、昔から色々取りざたされていますが、他の民間薬と同様に現実に効果はあっても、成分の均一化が得られないことや個人差があまりに大きいために、正確なデータや科学的証明もありませんでした。それ故、民間薬は中々薬には成ることが出来ず、一部の愛用者が使用すると一時的なブームに乗って利用されすぐに忘れ去られるというのが現実でした。

古来から、クマザサには滅菌、創傷治療、消炎効果等があるとされていました。なんとかこのような『自然界にそなわる力』を少しでも多くの方々に知っていただきたい、皆様の苦痛・不快を和らげることに役立てたいという想いが、一連の製品開発に至るきっかけでした。

TWEBS (クマザサ特殊抽出エキス) とは

我々は特殊な抽出法を使ってクマザサの成分を丸ごと抽出し、より均一性の高いクマザサエキス (TWEBS-V1) として製品化して、数々の大学病院や研究機関で臨床試験研究をしてもらいました。すると、実に驚くべき素晴らしい結果が出て来ました。すなわち、従来の常識では考えられない「抗菌・抗真菌・抗ウイルス作用」が同時に出て来たのです。(詳しくは、以下をご覧ください)

そして大学における最近の臨床試験研究では、ガン細胞に直接接触させた場合、驚くべきことにガン細胞の増殖を高い比率で増殖阻止し、直接にガン細胞を殺滅する作用があるのではと思われる結果まで出始めました。そのメカニズムはともかく大腸ガン・胃ガン・前立腺ガン・肝臓ガン・子宮ガン・肺ガン・乳ガンなど諸々のガンに著効が出ていることは明らかです。また口腔ガンなどにも直接塗布して良い結果を得ていることから、どうも直接にガン細胞を攻撃しているようにも見られます。

他の健康食品と比較しても格段の違いのあるデータからも明らかのように、人に安心して使用していただける製品だと確信しております。また、新しく免疫賦活作用の高いキノコ系等の有効成分を加え、より相乗効果を高めた TWEBS-MCR エキスも開発されています。

当初、オレンジと殺菌効果を持つ「TWEBS -V1」を合わせて商品企画をいたしましたので、オレンジとパンプーをつなげ、フランス語読みにした音をヒントに「オレノデ・パン」という名称を考案いたしました。しかし、製品の成分分析を厳しくチェックするに従い、安全で均一な品質基準を維持できるように、季節や産地によって質の変動する可能性のある原料は使用しない方がよいと判断いたしました。

この成分の正体

常識では考えられない効果

2002年の4月、褥瘡(ぐし)学会の権威の真田弘美先生を金沢大学にお尋ねし、ブドウ球菌、緑膿菌、カンジダなどに対する抗菌試験結果のデータの一部を見ていただき、ご意見を伺ったところ、「細菌も真菌もやっつけるなんて信じられない」と驚かれました。床ずれの場合は、病気の初期の段階から、病期に応じて、増殖している微生物の種類が異なり、使用する薬剤を逐次変えていかなければならぬので、その対応が極めて煩雑とのことでした。もし、TWEBS -V1 (クマザサ特殊抽出エキス) を含むものそれ一つで済ますことができれば、それは理想的とお話でした。知人の大学教授や医師、薬剤師の先生方に、同様の話をしたところ、異口同音に「細菌も真菌もやっつけることは常識では考えられない」とのコメントでした。

微生物をやっつける TWEBS -V1 (クマザサ特殊抽出エキス)

ヒトを悩ます微生物は、原生動物(原虫)、真菌(酵母、糸状菌)、細菌、ウイルスと4つのグループに分かれることは皆様ご存じの通りです。また、原虫、真菌、細菌、ウイルスは、それぞれ、その構造や性質が微妙に異なり、それぞれについて、抗原虫薬、抗真菌薬、抗菌薬、抗ウイルス薬と呼ばれるものがあること、また微生物でも、その種類により組織の障害作用(病原性)が大変異なるということなどもおわかりの通りです。

これらの基礎知識をふまえた上で、新たに細菌学が専門の岐阜大学の渡邊邦友教授、ウイルス学を専門とする昭和大学の中村良子助教授、岩沢篤郎先生のご指導とご協力をいただきまして、TWEBS-V1（クマザサ特殊抽出エキス）の微生物に対する作用をより科学的に試験することができました。そして、TWEBS-V1（クマザサ特殊抽出エキス）が、抗微生物作用を中心とする次の5つの理由から、各方面から多大な期待が寄せられるに至りました。

特 徴

1. 緑膿菌による床ずれ、種々の細菌がついた糖尿病性壊疽に有効、その他の創傷感染原因菌（ぶどう球菌、破傷風菌、ガス壊疽菌群）に有効（公的機関での抗菌試験あり）
2. 真菌に有効
カンジダに有効（公的機関での試験結果あり）
3. 抗生物質耐性菌に有効
MRSA に有効、薬剤耐性のアクネ菌などに有効（公的機関での抗菌試験あり）
4. ウイルスに有効
単純ヘルペスウイルス、インフルエンザウイルスに有効（昭和大学での抗ウイルス試験データあり）
SARS ウィルスに有効（中国疾病予防控制中心病毒予防研究所（中国・北京）での試験データあり）
5. 花粉症に一定の効果（消炎作用あり）
6. 消炎作用（発赤、腫脹、痒み、痛みなどに効果あり）

また TWEBS-V1 には、歯石や結石さえも溶かす作用があることがわかってきました。さらに岐阜大学で行われた「悪臭のあるミルクのような帯下が主症状の細菌性膣症の病原菌群に対する抗菌試験の研究」によりますと、TWEBS-V1 を特定濃度で使用すると、悪い細菌発育を阻止する抗菌力を発揮しながら、膣内の状態を健全に保つための善玉菌（乳酸菌類）を増加させるという驚くべき結果が明らかになりました。

そのメカニズム

本当に今まで常識的には考えられなかったことが、数多く検証されてきています。どのようなメカニズムでこのようなことが起こるのかは、残念ながら現状ではまだ解明されきれてはおりません。

漢方薬のバイブルである「本草綱目」には、『箒』として掲載されており、免疫力・自然治癒力を高め、体の様々な部位に『活』を与える〈活性多糖体〉と記述されています。

クマザサ活性多糖体の薬理作用をご紹介しますと、1. 細胞賦活作用 2. 血液浄化作用 3. 免疫賦活作用 4. 創傷治癒促進作用 5. 造血作用 6. 新陳代謝促進作用 7. 殺菌・制菌作用 8. 脱臭作用 9. 抗アレルギー作用 10. ビタミン保護作用 11. 鎮咳作用（エフェドリン様作用） 12. 強心作用（ジギタリス様作用） 13. 抗ストレス作用 14. 消炎作用 15. 腸ぜんどう作用 16. 脱コレステロール作用 17. 粘膜の保護作用 18. 抗腫瘍作用 19. 制酸作用 20. 強肝作用 21. 止血作用 22. 強精作用があげられます。

健康で正常な細胞は、多糖体が十分に足りているので細胞膜が厚い状態ですが、多糖体が不足すると細胞膜が薄くなり、細菌やウイルス、ガン細胞の攻撃を防ぐことが困難になり、あらゆる病気・障害を招く原因になるようです。

細胞に多糖体が十分に足りていれば細胞修復作用が働き、免疫力・自然治癒力を高めるようです。それゆえクマザサ活性多糖体には、22 もの薬理作用が記述されているのでしょ

また、人の染色体の数は男女とも46、あるいは47、48とされています。日本在来のクマザサの染色体数は48で、人体に近いものであることも、人との親和性の高い理由の一つなのかもしれません。